

“one of the most read articles in *Endocrine-Related Cancer* during 2016”を 授与されました(2017/2/15)

テーマ：Endocrine-Related Cancer

2016年7月にホルモンとがんに関わる最高峰雑誌 *Endocrine-Related Cancer* (impact factor: 約4.5) に掲載した招請論文(筆頭者：伊藤潔教授(災害医学研究部門 災害産婦人科学分野)が、このたび“one of the most read articles in *Endocrine-Related Cancer* during 2016”に選ばれ、‘Top Downloaded Author’ certificate が授与されました。

受賞論文：

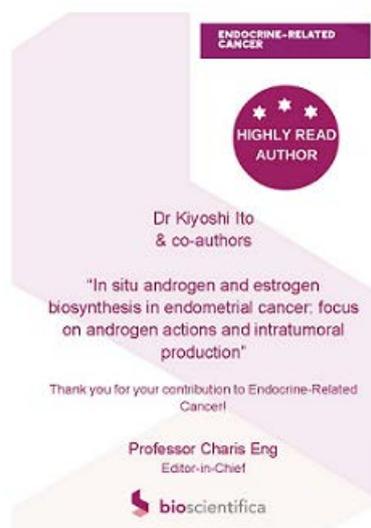
“In situ androgen and estrogen biosynthesis in endometrial cancer: focus on androgen actions and intratumoral production”

(Ito K, Miki Y, Suzuki T, McNamara KM, Sasano H. 2016 Jul;23:R323-35.)

(下線部は、当研究所 災害医学研究部門 災害産婦人科学分野所属)

災害産婦人科学分野では、研究の柱のひとつとして、災害などによるストレスおよびストレスホルモン(コルチゾール)が、女性の長期的な健康にどのような影響を及ぼすか、特に婦人科のがんの局所でのホルモン調節に及ぼす影響を検討しています。これまで、ストレスホルモンが、男性ホルモン(アンドロゲン)から女性ホルモン(エストロゲン)への転換を司るアロマターゼという酵素の発現に関与することなどを明らかにしてきました(Miki Y, Ito K, et al. 第98回米国内分泌学会 2016年4月)。

今回の受賞論文は、子宮体がんにおいて、この男性ホルモン(アンドロゲン)がどのような役割を果たしているか、どのように産生・代謝されているかを総論的に論じたものです。このような基礎的な成果を土台として、局所での女性・男性ホルモンおよびストレスホルモン代謝機構と、災害ストレスとの関係をさらに明らかにすることが今後の課題と考えています。



Top Downloaded Author’ certificate